



Miura city council news

みうら市議会だより

2025.11.1 第164号



- 令和6年度決算を認定
- 市長の給与等に関わる議案を審議
- 社会福祉協議会への不当介入及び情報発信等に関する調査特別委員会を開催



総務経済

◎令和七年度三浦市一般会計補正予算（第三号）

本補正は、歳入歳出それぞれ八千三十万一千円を追加し、歳入歳出予算の総額を二百二十一億四千八百七十四万四千円とするほか、繰越明許費の設定等を行うものです。

（質疑の主な項目）

- ・法人市民税の還付額が増加した理由について
 - ・小児医療費助成事業に対する県支出金の補助率について
 - ・環境センターの設備に生じた不具合の内容と作業への影響について
 - ・一番川の護岸補修に追加工事が必要となった状況について
 - ・新海業プロジェクトのうらりマルシェ改修工事と三浦市民ホールの修繕の関連性について
- 質問** 国勢調査の調査員と指導員の報酬はいくら引き上げられるのか。

【答弁】 一調査区当たりの調査員報酬は二千二百七十円、指導員報酬は四百五十円引き上げられるが、この財源は国から交付される。

【質問】 小学校施設と設備の修繕料が追加された理由は。



【答弁】 岬陽小学校の屋上の防水修繕を予定していたが、強風で修繕する箇所が広がったほか、二つの小学校の電話設備の更新修繕を行うためである。

【意見】 後期高齢者医療事業特別会計への繰出金が含まれるが、同医療制度自体に反対しているため賛成できない。

●欠員となっていた総務経済常任委員会の委員長が選任され、副委員長が交替しました。

総務経済常任委員会

委員長 草間 道治
副委員長 長島満理子
委員 森谷久一郎
小林 直樹
溝川 幸二

都市民生

◎令和七年度三浦市国民健康保険事業特別会計補正予算（第一号）

本補正は、歳入歳出それぞれ七百四十六万五千円を追加するものです。

【質問】 一般管理事業費の補正内容について伺う。

【答弁】 令和八年度から始まる国の子ども・子育て支援金制度では、子ども・子育て支援納付金を国民健康保険税と併せて賦課・徴収する。このため、新たにシス



テム改修費用を計上するものであります。

【意見】 制度の趣旨は理解できるが、国民皆保険制度の医療保険料に支援金を上乗せして徴収する仕組みには納得できず、賛成できない。

◎令和七年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第一号）

本補正は、歳入歳出それぞれ一千八十五万三千円を追加するものです。

（質疑の主な項目）

・職員人件費を増額する理由について

【意見】 本医療制度自体に承服できず、また、子ども・子育て支援金制度に関するシステム改修費用を含む本案に反対する。

◎令和七年度三浦市公共下水道事業会計補正予算

（第一号）

本補正は、業務の予定量を変更し、資本的収入に企業債及び補助金、資本的支出に建設改良費を追加し、企業債の限度額を補正するものです。

【質問】 管きよ建設改良費の予定額を増加する理由は。

【答弁】 市役所新庁舎を建設する地区内で行う雨水調整池の工事について、

使用する資材の価格が上昇したことに伴うものである。



現地視察を行いました 〈市内の高齢者施設の現状について〉



9月12日に都市民生常任委員と議長が市内の2施設を訪問しました。

デイサービス事業所・グループホームの「スマイル住まいる三浦」では、手厚い介護とスタッフの負担軽減につなげるための電子システムの活用や、外国人スタッフが活躍している様子を見ることができました。

三浦市老人福祉保健センターでは、高齢者の憩いの場として利用されている一方で、施設の老朽化が進んでいる状況を確認しました。



新たに提出された陳情

◎「再審法改正を求める意見書」採択に関する陳情

趣旨 本陳情は、えん罪被害者を救済するために、再審請求手続における証拠開示の制度化及び再審開始決定に対する檢察官の不服申立ての禁止を含む再審法の改正を求める意見書を採択し、国に提出することを求めています。

◎公共施設内での労働組合加入、政党機関紙の勧誘等に関する調査及び是正を求める陳情

趣旨 本陳情は、行政職員に対する①労働組合へ加入・継続する際の心理的圧力の有無、②地方議員からの政党機関紙の購読勧誘の有無についての実態調査と、必要がある場合の是正措置を求めています。

◎去る七月三十日に発生した津波警報への三浦市の対応の検証・対処を行うため調査特別委員会の設置を求める陳情書

趣旨 本陳情は、表題にある特別委員会を設置し、市の意思決定過程と情報伝達体制、避難所開設基準等の検証と対処を求めています。

◎重度障害者の医療費助成に関して障害者福祉施策における令和八年度予算についての陳情

趣旨 本陳情は、令和八年度予算策定に際し、障害者の医療費助成に配慮した施策を求めています。

◎移動困難者の通院対策に関して障害者福祉施策における令和八年度予算についての陳情

趣旨 本陳情は、令和八年度予算策定に際し、障害児者・透析者の通院支援や通院・生活介助に十分な補助がされるよう国に要求することを求めています。

◎陳情書（名向小学校体育館のトイレをバリアフリーにしたい）

趣旨 本陳情は、避難所としての機能も担う名向小学校の体育館トイレについて、車いすでの使用ができるよう改修すること、そのほかの市内小中学校においても状況の確認及び改善を図ることを求めています。

◎市内小中学校の施設環境の早急な改善を求める陳情

趣旨 本陳情は、子どもたちの安全と教育環境を守るため、市内小中学校の老朽化や破損等により修繕が必要な施設について速やかに改善することを求めています。



陳情の審査結果

9月定例会で審査を終えた陳情は、次のとおりです。

所管委員会	件名	結果
総務経済	公共施設内での労働組合加入、政党機関紙の勧誘等に関する調査及び是正を求める陳情	審議未了

令和6年度

歳入歳出決算を認定

決算審査特別委員会の

審査から

一部抜粋

令和六年度の一般会計、企業会計を含む特別会計の決算認定議案は、七人の委員で構成する決算審査特別委員会で審査を行いました。

総括質疑 市政全般にわたり 市長に質疑

質問 令和六年度決算に対する市長の所感は。

答弁 これまで、市債の発行残高を考慮した財政運営がされてきたが、六年度は市債の発行額が比較的大きくなった。今後

も大型事業が予定され、これまでとは違う局面に入ってきている印象である。

質問 財政状況の改善策について、市長の見解は。

答弁 子育てや教育環境の改善、産業振興、観光

を含めたイメージ戦略などを総合的に積み重ねること、人口の社会増や

税収の増があると考ええる。

質問 市長は過去に「歳出予算の三％に相当する無駄を減らしたい」と述べていたが、本決算を踏まえての見解は。

答弁 令和八年度の予算編成に向けて、これから見ていくので、現時点では具体的なめどは立っていない。

質問 財政調整基金を取り崩して事業を実施することに対する市長の考えをお聞きたい。

答弁 財政調整基金は、財政変動や大規模災害に

決算審査 特別委員会

委員長 草間 道治
副委員長 千田 征志
委員 森谷久一郎
石橋むつみ
下田 剛
石崎 遊太
出口 景介

備えて、標準財政規模の一〇％程度を確保することが望ましいと言われている。引き続き、十億円から十一億円の確保を念頭に考えていきたい。

質問 前年度と比べて、ふるさと納税による寄附額が減少しているが、今後の取組方法は。

答弁 ふるさと納税は、即効性がある財源という意味で非常に重要である。魅力のある返礼品のラインナップ、ポータルサイト上の対策、広報・広告などの情報発信の取組が必要だが、SNSなどの情報発信がまだ十分でないと考えている。

令和6年度 各会計の決算状況

会計区分		歳入（収入）	歳出（支出）	差引額
一般会計		216 億 9,484 万円	209 億 8,296 万円	7 億 1,188 万円
特別会計	国民健康保険事業	55 億 6,012 万円	55 億 5,139 万円	872 万円
	後期高齢者医療事業	10 億 1,060 万円	9 億 5,181 万円	5,879 万円
	介護保険事業	59 億 9,443 万円	59 億 6,232 万円	3,210 万円
	市場事業	4 億 8,187 万円	4 億 3,205 万円	4,982 万円
	第三セクター等改革推進債償還事業	2 億 6,309 万円	2 億 6,309 万円	0 円
	企業会計	病院事業	22 億 8,585 万円	△ 4 億 6,562 万円
		水道事業	14 億 2,981 万円	874 万円
		公共下水道事業	7 億 2,971 万円	451 万円

※歳入歳出の金額は1万円未満を切り捨て。企業会計は収益的収支を掲載しています。

一般会計

歳入

- ・市税の不納欠損額が減少した理由について
- ・放課後児童クラブ助成に係る県補助金の内容について

質問 六年度に行われた定額減税による市税収入への影響は。

答弁 個人市民税の収入額が一億六千二百万円減少したが、地方特例交付金で全額が補てんされた。

歳出

総務費

質問 みうら市民まつりの来場者が過去最大の一万人九千人となった要因は。

答弁 須坂市との姉妹都市交流五十周年を記念した演奏等を企画し、これを効果的に周知できた。



民生費

- ・放課後児童クラブの移転補助について
- ・ファミリーサポートセンターの会員向け研修会の実施方法について

衛生費

- ・子宮頸がんの予防接種数の増加理由について
- ・環境センターの改修に向けた事業費について

農林水産業費

- ・三浦野菜の認知度向上や消費拡大に向けたレシビ開発について
- ・間口漁港駐車場の利用実績について



商工費

- ・三浦国際市民マラソンのエントリー数増加に向けた取組について
- ・市内で新たに創業した事業者数等について

土木費

- ・道路補修の要望件数とLINEでの通報制度について
- ・住宅リフォームへの助成内容と経済効果について

消防費

- ・避難者用食料の整備数について
- ・消防団第八分団詰所の整備状況について

教育費

- ・学校体育施設の市民開放の実績について
- ・新たに開館した図書館南下浦分館について



質問 小中学校で導入したAードリルの効果は。

答弁 一人一人に合った課題に取り組めるので、自習等の場面でも活用されている。プリントの印刷がなくなり、教員の働き方改革に寄与している。

特別会計

国民健康保険事業

- ・療養給付費増加の要因について

- ・保険税率の改定内容について

後期高齢者医療事業

意見 この制度自体に問題があると考ええる。

介護保険事業

質問 介護予防のための教室参加者が大きく増加した理由をお聞きしたい。

答弁 無料体験講座をきっかけに教室への参加希望者が増加したため、一回当たりの定員を増やした。

市場事業

- ・新たな超低温冷蔵庫建設のための移転補償費について

・市場使用料の収入未済額解消に向けた取組について

第三セクター等改革推進債償還事業

- ・本会計の起債残高と返済期間について

企業会計

病院事業

- ・看護師不足による影響と採用の取組について
- ・再開後の売店について

質問 経営強化プランに掲げた収入増加策の達成状況を伺う。

答弁 後発医薬品に関する加算は実施し効果を上げたが、急性期一般入院料に関する加算は看護師不足で実施できなかった。

水道事業

- ・水道料金改定及び開閉栓手数料の廃止による影響額について
- ・有収水量率が低下した要因について

公共下水道事業

質問 コンセクション方式での事業開始による維持管理コストへの効果は。

答弁 物価の上昇でコストが大きくなったが、事業者は太陽光発電の導入や効率的な運営に努めた。



賛成

討論

反対

一般会計決算

反対討論

○石橋むつみ委員

市の正規職員が不足している状況で、専門職員の配置や仕事の継承等の検証が必要。就学援助制度は、支給額が国基準の二分の一のものがある。

賛成討論

○千田征志副委員長

歳出では、市民交流拠点整備等の事業費や、ごみ処理施設に関連する公債費の増加があったが、いずれも持続可能なまちづくりを進めるためには必要不可欠なものである。

○森谷久一郎委員

新海業プロジェクトがスタートを切ったほか、観光の核づくり推進事業など、新しい三浦の姿を目指すための事業に着手したことが評価できる。



本会議における討論

議案第 61 号 令和 6 年度三浦市一般会計決算の認定について

反対討論

日本共産党 石橋 むつみ

市の正規職員数は定数より少なく、メンタル事由の休職や若手職員の退職等の状況が見られる。専門職員の養成や配置等を検討するとともに、市民サービスの上昇に結びつけるために働きやすい職場をつくり、正規職員を増やすこと



賛成討論

自由民主党 出口 景介

令和六年度においては、経常収支比率と将来負担比率が改善傾向にあることを評価する。
歳入では、市税の徴収強化を図るため、高額、悪質な滞納者に対する債権の差押えや公売の実施など、様々な徴収体制による市の努力を評価する。

賛成討論

公明党 森谷 久一郎



令和六年度は、海業のさらなる推進が図られ、観光の核づくり推進事業等の観光施策の取組、市民交流拠点での建設工事など、新たな三浦市を目指した施策への着手は大いに評価できる。
また、市税収入の減少はあったが特例交

が必要である。

小中学校の就学援助制度は、学用品費等の支給額が国の予算単価の二分の一になっている。全ての児童・生徒が安心して教育を受けられるよう、支給額を国基準にすることを求める。

地域経済と市民の暮らしはひっ迫している。厳しい財政状況でも将来を見据え、主体的な行財政運営で市民の暮らしを守ることを求める。

ふるさと納税については、全国的な返礼品合戦の中、知名度向上や財源確保、市内産業活性化を目的とした積極的な取組を評価する。

歳出では、子育て賃貸住宅や市民交流拠点事業、障害者支援や生活保護費、ごみ関連施設の公債費が増加したが、持続可能なまちづくりには必要不可欠なものである。



付金で補てんされ、実質増収を達成し、徴収の工夫など職員の努力の跡が見られる。

緊縮的な予算の中、公民連携に取り組み、重点施策が着実に推進され、三浦海岸桜まつり等の各イベントを通じて明るい兆しが見え始めている。

厳しい財政環境ではあるが、学校施設改修など重要課題への対応を進め、知恵と工夫を凝らし、市民の期待に応える市政運営を求める。

傍聴のご案内

三浦市議会の本会議、委員会及び全員協議会は、どなたでも傍聴することができます。

傍聴するには…

- ・市役所本館三階または四階で、**開会三十分前**から受付を行います。基本的に先着順ですが、受付開始時に定員以上の傍聴希望者がいる場合は、**抽選を行います**。
- ・傍聴が決定した方は、係員の案内に従って受付簿の記入など手続をしてください。

次の事項をお守りください

- ・飲食や喫煙をしないでください。
- ・写真、動画などの撮影や録音をしないでください。
- ・拍手や声を出すなど、会議の妨げとなる行為はしないでください。



記録のため、議会事務局職員が写真撮影をすることがあります。

本会議での議案等の審議結果

《全員賛成で議決した議案》

【議案】

- 第53号 令和6年度三浦市病院事業会計決算の認定について
- 第55号 令和6年度三浦市公共下水道事業会計決算の認定について
- 第65号 令和6年度三浦市市場事業特別会計決算の認定について
- 第70号 令和7年度三浦市公共下水道事業会計補正予算（第1号）
- 第71号 三浦市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の特例に関する条例
- 第72号 三浦市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例
- 第73号 教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
- 第74号 公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて

《賛否が分かれた議案》 ○賛成 ●反対

※議長は表決に加わらない

番 号	件 名	審議結果	自由民主党				三志会				日 本 共 産 党	公 明 党	無 所 属	
			神 田 眞 弓	千 田 征 志	出 口 景 介	長 島 満 理 子	下 田 剛	石 崎 遊 太	溝 川 幸 二	草 間 道 治	石 橋 む つ み	小 林 直 樹	森 谷 久 一 郎	寺 田 一 樹
【議 案】 第 54 号	令和 6 年度三浦市水道事業会計決算の認定について	認定	※	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
第 61 号	令和 6 年度三浦市一般会計決算の認定について	認定		○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
第 62 号	令和 6 年度三浦市国民健康保険事業特別会計決算の認定について	認定		○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
第 63号	令和 6 年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計決算の認定について	認定		○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
第 64 号	令和 6 年度三浦市介護保険事業特別会計決算の認定について	認定		○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
第 66 号	令和 6 年度三浦市第三セクター等改革推進債償還事業特別会計決算の認定について	認定		○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
第 67 号	令和 7 年度三浦市一般会計補正予算（第 3 号）	可決		○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
第 68 号	令和 7 年度三浦市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 1 号）	可決		○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
第 69 号	令和 7 年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第 1 号）	可決		○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○

《撤回された議案》

【議案】

- 第60号 三浦市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

一般質問 質問と答弁の要旨

一般質問とは、市政全般にわたって報告や説明を求めたり、疑問をただすことをいいます。
令和7年第3回定例会では、10人の議員が市政運営について市側の考えをただしました。



中継映像の視聴
はこちらから→



津波対応の問題点

カムチャツカ半島沖地震の教訓

三志会 石崎 遊太

質問 七月三十日に発生したカムチャツカ半島沖地震では津波警報が発令されたが、市は災害対策本部の設置を行わなかった。市長権限で設置を決定することもできたはずだが、それを行わなかった市長の意図は何か。

市長 津波が到達するまでの時間もあり、災害を待ち構える体制は整っていた。市民が過剰に不安を感じる可能性もあり、設置を見送った。

質問 窓口業務の縮小や、それに応じた災害支援のための職員配備の動きは取られていたのか。

防災危機対策室長 窓口業務の縮小等、全庁的な業務配備の変更は行っていないかった。

質問 一連の対応について、出口市長はどこで何をしていたのか。

市長 市長応接室に一部の担当職員を招集し、情報収集等を行っていた。

質問 市長は津波警報が発令されて僅か約十分後に、自身の職務よりも優先して個人のSNSアカウントで避難を呼びかけていた。肝心の職務として運用している市長の公式SNSアカウントで避難が呼びかけられたのは、それより一時間以上も後であった。不適切であったという認識はないのか。

市長 結果として適切ではなかった。公式アカウントを用いた情報発信は、個人アカウントでの発信と併せて早期に相談・指示を行うべきだった。

質問 本市の避難所設置時間は十六時と、不自然なほどに遅れた。高台への避難を優先し、早期の設置を見送った判断には

一定の理解をしている。しかし、開設がここまで遅れたそもその理由は、それを判断する対策会議の開催が十四時三十分であつたことだと考える。幹部職員をもっと早いタイミングで招集できていれば、避難所開設の時間は早められたはずだ。トップダウンの指示が不足していたのではないか。

市長 私自身の経験の不足がほかの自治体との対応の差につながっている可能性は否定できない。今回の教訓を生かしたい。

意見 災害対応において、政治経験がないことや在任期間の短さは、絶対に言い訳にはならない。市長の選択ひとつで多くの市民の命が危険にさらされ得るということを、あらためて自覚していただきたい。



翌朝まで避難所が開設された上宮田小学校



補聴器購入助成を

住まいは人権、公営住宅とは？

日本共産党 石橋 むつみ

質問 市の高齢化率は？

保健福祉部長 令和七年一月一日現在で四二・一％である。

質問 高齢者の難聴は避けて通れないが、その影響はどのようなものか。

保健福祉部長 国の高齢社会対策大綱に、難聴は生活や社会参加の範囲を狭め、フレイルや認知症等のリスクを高める要因となり得るとある。

質問 本件に関し、神奈川県議会でも国への意見書が可決されたと聞くが。

保健福祉部長 「加齢による難聴の早期発見と聴覚補助機器等の積極的な活用への支援を求める意見書」が可決され、五項目の要望が出された。

質問 要望の内容を伺う。

保健福祉部長 聴力低下の影響について正しい知識の普及啓発を図る、聴

質問 市内における公営

保健福祉部長 募集停止中の上宮田団地は築50年を超えた。住民の高齢化が進む。

質問 市内における公営

一般質問

住宅の状況は？

総務部長 市営住宅は昭和二十五年以降百五十三戸建設したが、老朽化のため令和六年度までに全て廃止。県営住宅は上宮田と初声シーサイドタウンの二団地で八百三十一戸が管理戸数である。上宮田団地は令和元年九月から入居募集を停止していることを県に確認した。

質問 神奈川県県営住宅健康団地推進計画では上宮田団地は令和五年度までに建替事業着手とあったが動きは見えず、令和六年三月の計画改定で事業着手は令和十年度までにとされた。高齢で動けなくなるまではつきりしないのかと住民は言う。

市長 県営住宅入居者に高齢者が多いことは承知している。適切な支援について庁内の関係部局で情報共有し、県と協力して対応したい。具体的な着手時期などは県と情報共有を図り、入居者の不安解消に努めたい。

質問 市長が市長選の公約に挙げた主要施策の、①情報公開について、②農業について、③水産業について、④観光について、各々考えを伺う。

市長 ①市側から重要な施策をテーマとして積極的に情報発信し、より対象を広げた幅広い市民の方から意見を伺う新たな場を検討中。市の政策や情報、各種事業の進捗状況等を直接私の声で市民に届けたいため、概ね三か月に一度の間隔で会見を実施したい。ユーチューブでの会見の配信は、賛否を含め様々な意見があり、整理してなるべく早い時期に実施するように取り組む。

②新規就農では、新たに三浦市内で農業を始めた人を支援する。一方で高齢化により農業従事者の確保が大きな課題で後継者対策も重要。また都市部に産直市場の開業を目指しているが、直営での開設には、様々なハードルやリスクがあるため、指定管理者制度の活用などを検討したい。

③藻場再生の取組強化をはじめ、遠洋漁業基地としての活性化や漁業者の収入確保に向けた新たな取組を推進したい。

④これまでの三浦ならではの特色ある観光施策は評価する。ユニークな観光の実現に向け、市民や事業者の皆様の意見を伺うため、各地区で市民参加の協議会設立を考えたが、既存の団体や仕組みを整理している段階で、具体的に決まっていない。

要望 市長の考えとこれまでの市の取組との整合性を図ることや、公約の

実現に向けては、イメージ止まりであったり、課題やリスクの検討が進んでいない。市として長年積み上げてきた取組の成果を尊重しつつ、新しい要素を加えていくような手法で市政運営をお願いしたい。



市長の公約について

戦後及び被爆八十年の思い

公明党 森谷 久一郎

質問 市長が市長選の公約に挙げた主要施策の、①情報公開について、②農業について、③水産業について、④観光について、各々考えを伺う。

市長 ①市側から重要な施策をテーマとして積極的に情報発信し、より対象を広げた幅広い市民の方から意見を伺う新たな場を検討中。市の政策や情報、各種事業の進捗状況等を直接私の声で市民に届けたいため、概ね三か月に一度の間隔で会見を実施したい。ユーチューブでの会見の配信は、賛否を含め様々な意見があり、整理してなるべく早い時期に実施するように取り組む。

②新規就農では、新たに三浦市内で農業を始めた人を支援する。一方で高齢化により農業従事者の確保が大きな課題で後継者対策も重要。また都市部に産直市場の開業を目指しているが、直営での開設には、様々なハードルやリスクがあるため、指定管理者制度の活用などを検討したい。

③藻場再生の取組強化をはじめ、遠洋漁業基地としての活性化や漁業者の収入確保に向けた新たな取組を推進したい。

④これまでの三浦ならではの特色ある観光施策は評価する。ユニークな観光の実現に向け、市民や事業者の皆様の意見を伺うため、各地区で市民参加の協議会設立を考えたが、既存の団体や仕組みを整理している段階で、具体的に決まっていない。

要望 市長の考えとこれまでの市の取組との整合性を図ることや、公約の

実現に向けては、イメージ止まりであったり、課題やリスクの検討が進んでいない。市として長年積み上げてきた取組の成果を尊重しつつ、新しい要素を加えていくような手法で市政運営をお願いしたい。

質問 今年には戦後及び原爆の被爆から八十年。三浦市は核兵器廃絶平和都市を宣言しているが、市長は平和の理念をどう考えるか。

市長 三浦市は小さな自治体で、小さな声かもしれないが、三浦市核兵器廃絶平和都市宣言の「恒久平和の理念を子々孫々に継承する」にのっとり、非核三原則の完全なる遵守を求め、あらゆる国の核兵器の廃絶と軍縮を訴え続けていきたい。



核兵器廃絶平和都市宣言銘板

三浦市核兵器廃絶平和都市宣言
三浦市は、戦後八十年の節目に、恒久平和の理念を子々孫々に継承する。非核三原則の完全なる遵守を求め、あらゆる国の核兵器の廃絶と軍縮を訴え続けていきたい。



三浦しゅんひろば

三浦国際市民マラソン不正事案

無所属 寺田 一樹

※三浦しゅんひろば

質問 前定例会では、事業の見直し・土地の返還を早期に決断するよう求めたが、それから二か月経った現在の状況は。

市長 当該用地は地権者へ返還することとした。

質問 今後のスケジュールは。

総務部長 借地を畑として原状回復するために要する工事期間や賃料のことを考慮し、令和八年三月を目途に土地賃貸借契約を解消し、賃料を精算の上、地権者に返還したい。また原状回復に必要となる費用は、地権者や関係機関との協議を踏まえ、予算案を提出したい。

要望 新たな賃料の発生が起きないように、工事の発注などにおいて、滞りなく進めてもらいたい。



しゅんひろばを整備しようとしていた市営下宮田住宅跡地

※三浦国際市民マラソン不正事案

質問 不正事案を行った元事務局長には、市及び実行委員会に対して、三千三百万円超の賠償金の支払いが命じられている。現時点において支払いは済んだのか。

経済部長 債権回収に係る情報は、その結果などを含め債務者の生活状況などの特定につながるおそれがあるほか、今後の回収に係る手続きへの影響が生じる可能性もあることから具体・詳細な状況の答弁は控える。

市としては、引き続き弁護士と連携の上、回収に向けて取り組んでいる。

質問 令和六年第四回定例会では、法令に基づく強制的な徴収の手続きを含めた対応に着手していると言っていたが、現在、法令に基づく強制的な徴収は行われているのか。

経済部長 事案としての時間の経過に鑑みて、一部、法令に基づく強制的な徴収に着手しているところであるが、全額回収のめどはたっていない。

質問 市長はこの事案についてどんな思いを持っているのか。

市長 社会に与えた影響は大きく、大会運営に対して様々な課題を投げかけるものであった。現在は、事務の見直しが行われ、一定の再発防止策が講じられている。しかし、全ての側面での事案解決には至っていない。元事務局長に対しては、より厳しい責任追及を継続していく。



三浦の漁業と農業

やっぱり第一次産業が大事

自由民主党 出口 景介

※三浦市の市章は大根とマゴロがモチーフ。

第一次産業である農業と漁業は基幹産業であり、三浦市の象徴。この第一次産業を守っていくことが三浦のまちづくりにつながるのと考えから問う。

マゴロ漁業に代表される遠洋漁業の現状は。

海業水産担当部長 令和六年度の水揚げ量は約七千八百㌧、水揚げ金額は約八十億円。約十年間で

水揚げ量は約五〇％減少、水揚げ金額は約四〇％減少。また現在、市内の遠洋漁業の会社は一社のみ。

質問 沿岸漁業の現状は。

海業水産担当部長 令和六年度の水揚げ量は約一千百㌧、水揚げ金額は約九億円。約十年間で水揚げ量は約五〇％減少、水揚げ金額は約一〇％減少。漁業者は減り続けており、

令和六年度の市内漁協全体の組合員数は一千百四十八人となり、約十年間で二〇％以上が減少。

質問 現在漁獲されている市場・スーパーに並んでいない魚がある。それを一般的に未利用魚というが、その活用が今後考えられるのではないか。

海業水産担当部長 一例として、相模女子大学では漁獲したアイゴを加工し学園祭で販売したり、海洋科学高校でも加工品として活用する取組が行われている。しかし、アイゴを商用として活用するには解決すべき課題も多いと伺っている。

質問 今年の夏野菜の概況や作付面積の動向は。

経済部長 出荷量は昨年と比較して、カボチャは減少したが、スイカは増加したと三浦市農業協同

組合から聞いている。カボチャは、日焼け防止対策を講じたが、本年の暑い猛暑に耐えられず、日焼け率が高まり、出荷できないカボチャが多数発生した。また農業従事者の減少による労働力不足などにより夏作全体の作付面積は減少している。

意見 六月四日、経済部と共に次城県下妻市へ視察に伺った。下妻市の隣の境町はふるさと納税日本一のまちで約百億円がふるさと納税収入。下妻市も境町に倣い規格外野菜を加工していた。もし、カボチャを加工利用できていたら生産者の利益になったかもしれない。今後の政策として、生鮮品の出荷だけでなく、野菜、果物、魚等を加工して二次利用していくことで農業・漁業者の支援に繋がるのではないかと提案する。



シンプルだが力強いイメージを与えてくれる三浦市の市章



行方不明者の連絡

三浦海岸海水浴場

三志会 下田 剛

質問 高齢者の行方不明者の情報発信について、防災情報メールと三浦市認知症等行方不明ＳＯＳネットワークでは、別々に情報発信を行っているのか。

保健福祉部長 三崎警察署から防災危機対策室に情報発信の依頼があった場合には、防災情報メールで情報発信を行うこととなる。一方で、認知症等行方不明ＳＯＳネットワークに登録して行方不明となった方のご家族等から高齢介護課に連絡があった場合、ご家族等の同意を得た上で、状況に応じて関係団体等へ情報提供を行っている。

質問 市役所内であればらの動きをしているように感じられる。まず、高齢者の行方不明者が発生したときの対応として、



認知症啓発のイベント(RUN伴三浦半島)のTシャツ
今年で10年目

三浦市認知症等行方不明ＳＯＳネットワークの情報を活用するなど、防災危機対策室と高齢介護課が連携して、早期発見に向けた迅速な情報発信等をしていく必要があると思うが、いかがか。

保健福祉部長 個人情報

の共有や、防災情報メール、三浦市LINE公式アカウントの活用に当たっての精査等の課題がある。しかし、議員のおっしゃるとおり、早期発見のために、防災危機対策室と高齢介護課が連携して迅速な情報発信等をしていく必要があるというふうに考えている。

要望 三浦市認知症等行方不明ＳＯＳネットワークをさらに周知して登録者数を増やしていく努力をしていただきたいと

もに、情報は「ご家族等が望めば」できる限り早期に多方面に発信するべきだと思う。

質問 近年いろんな海水浴場では、モビマットが敷いてある海水浴場が見られる。市の目安箱にも

来ているが、これは車椅子やベビーカー等が砂の上を安全に移動できるようにするためのマットである。波打ち際の近くまで行けると大変好評である。今後、三浦海岸に導入する考えはあるのか。

経済部長 誰もが安全・

安心に過ごすことのできるユニバーサルビーチとするには、モビマットは必要な設備であると認識している。一方で、三浦海岸は波打ち際までの距離が長いので、導入に係る財源も含めた検討が必要であると考えている。



小中学校消防設備

老人センターの改修 新海業

日本共産党 小林 直樹

小中学校の消防設備改善

質問 全ての小中学校で複数の消防用設備等が不良と指摘されている。この状態を認識しているのか？

教育長 点検結果により認識している。

質問 「火災になっても感知器が感知しない」

「消火栓のボタンを押してもポンプが動かない」
「誘導灯が機能しない」
「非常警報のスピーカーが鳴らない」
「避難の救助袋が使えない」などの状態になっている消防用設備等がある。

危機管理が麻痺していると言わざるを得ない。長年にわたって、このような状態を放置してきた責任は重大だ。

児童・生徒及び教職員の安全のため、早急に改善が必要だが、どのよう

に考えているのか？

教育長 学校施設の改善について、特に法令で義務づけられている設備については、着実に進めていく。

意見 小中学校は、消防

法第八条で定められた「防火管理が義務づけられている防火対象物」であり、早急に改善が必要である。



使用禁止の救助袋

老人センターの改修を！

質問 老人福祉保健センターは、「雨漏りで天井ががれ落ちている部屋がある」「使用禁止の便器がある」「冷房が効かない部屋がある」「外壁

の鉄筋がサビてコンクリートが割れている」などの状態である。施設の改修が必要だが、どのように考えているのか？



老人福祉保健センター

保健福祉部長 利用者に不便をかけている。改修に向けた検討を行っている。

新海業プロジェクト

質問 事業計画(案)について、十二月末までに関係事業者等との協議を終了する予定になっているが、予定どおり協議を進める考えなのか？

市長室長 関係事業者等

の皆様に、丁寧に事業計画(案)を説明し、着実に合意形成を図る必要がある。スケジュールの見直しが必要な場合は、進捗状況を踏まえ、興和グループと協議していく。



安心できるまち

教育行政について

自由民主党 千田 征志

質問 教職員による盗撮等の不祥事への対策について、市内の教職員に対し教育委員会としてどのような指導を行っているのか伺う。

ない。

質問 中学生の健康被害を守る取り組みについて、先月八月十四日の新聞記事の中で、オーバードーズについての記事を見かけたが、市内の中学校ではどのような対策があるのか伺う。

教育部長 学校からオーバードーズによる事案の相談があった際には、関係機関と連携し、支援することとしている。

質問 犯罪抑止の為、防犯カメラの設置等の対策も検討されるかと思うが、考えを伺う。

教育部長 現在、市内の各学校では、玄関及び昇降口等、外から校舎内に入る箇所に数台、防犯カメラを設置しているが、教室やトイレなど校内の部屋等については、児童・生徒及び教職員のプライバシー保護の観点から防犯カメラは設置して

いない。
質問 中学生の健康被害を守る取り組みについて、先月八月十四日の新聞記事の中で、オーバードーズについての記事を見かけたが、市内の中学校では、どのような対策があるのか伺う。

教育部長 各学校では、情報リテラシーや情報モラルについて、技術科や特別の教科、道徳を中心に教科等横断的に指導をしている。又、保護者に対し、インターネット上の危険な情報について学校通信等により注意喚起を行ったり、PTAや外部機関と連携した情報リテラシーに関する学習会を開催したりするなどの取り組みを行っている。

教育委員会では、昨年度、思春期保健研究会・講演会を開催した。



安心して通える学校を



市長の市政執行

法令上の届出義務違反について

三志会 草間 道治

質問 市長は、三月一日から市長に就任後の七月十八日までの間に明確な法令違反を犯し、国民健康保険税及び国民年金保険料をそれぞれ二十七万七千五百三十三円と五万二千元が未納の状態です。市長はどのように考えているのか伺う。

市長 本来納付すべき時期に納付できなかったことは、そもそも法に定められる届出を怠ったことに起因しており、市民及び職員に対して重い責任を感じている。

市長 事前に議会に対し報告をしなかった点は、配慮が欠けていたと感じている。今後は、事案の重大性を考慮し、事前に説明するようにしたいと考えている。

質問 「市長が未加入で滞納であったことは市民に不信を招く。税を扱う職員に対しても影響を与える」との懸念があることについては、非常に重大であると考えている。本件は明確な法令違反を犯したと考えているが、市長はどのように考えているのか伺う。



国民健康保険税納税通知書等

市長 保険者である市の事務を執行する機関として、制度にのっとった手続を市民の方々に指導する立場であり、制度に沿わない状態については重く受け止めている。具体的に責任を取る必要があるという考えである。

質問 届出義務違反をしたということ十分に理解していただき、どの程度の減額措置とする考えなのか、具体的に伺う。

市長 今、過去や他市の事例等を調査しているが、さらに調査した上で、これから庁内において精査、相談をさせていただきながら、なるべく速やかに実行していく考えである。



観光振興

賑わい創出と子どもの居場所

自由民主党 長島 満理子

質問 七月十二日から八月三十一日まで、三浦市公設の海水浴場「MURAH FUN BEACH」が開設された。海の家設置はなく、新しい魅力を打ち出し、来場者数の増加、賑わいの創出を目的に、海岸活性化の推進体制づくりを目指した一カ月半だった。二年ぶりの開設に携わった方々に感謝する。三浦海岸海水浴場について所感を伺う。

一定の経済効果があったと考える。

質問 週末は多くのイベントが開催されていた。期間中どのようなイベントが行われたのか伺う。

経済部長 ニッポン放送の生放送イベント、映画上映会、音楽やダンスなどのステージイベントや、ビーチスポーツ大会、地域の団体と連携したイベントが行われた。

市長 関係団体の協力や企業版ふるさと納税の支援により、「MURAH FUN BEACH 三浦海岸」を安全に開設できた。市外から多く来場があり、アンケートでの評価も高く、死亡事故もなく安堵している。飲食店等へのアンケートでも好意的な意見が寄せられ、

質問 週末は多くのイベントが開催されていた。期間中どのようなイベントが行われたのか伺う。

市民部長 フリースペースとしての活用ではないが、事業として実施することは可能であることから、管理運営をしている指定管理者へ働きかけていきたい。

市長 関係団体の協力や企業版ふるさと納税の支援により、「MURAH FUN BEACH 三浦海岸」を安全に開設できた。市外から多く来場があり、アンケートでの評価も高く、死亡事故もなく安堵している。飲食店等へのアンケートでも好意的な意見が寄せられ、

質問 週末は多くのイベントが開催されていた。期間中どのようなイベントが行われたのか伺う。

質問 子どもたちのコミュニケーションの場として子どもたちの居場所が必要である。市の考えを伺う。

市長 今後は、市全体の子どもの政策の中で、市民の声を聞きながら検討を進めていきたい。

経済部長 年間を通じた三浦海岸の利活用は非常に重要なテーマであると考えている。海水浴場賑わい創出業務委託の中では、秋から冬の期間に海岸の通年活用のモデルとなる賑わい創出イベントを一回以上実施することな

市長 今後は、市全体の子どもの政策の中で、市民の声を聞きながら検討を進めていきたい。



地域の交流拠点
チエルSea みうら

議席が変わりました



○9月8日の本会議において議席を変更しました。

自由民主党 公明党 三志会 無所属 日本共産党		13 長島満理子	12 草間道治	11 溝川幸二	10 小林直樹
	9 出口景介	8 千田征志	7 石崎遊太	6 下田 剛	5 石橋むつみ
4 神田眞弓	3 森谷久一郎	質問席		2 寺田一樹	1 (欠員)

本会議における
議案の審議

今議会では、出口市長の給与や期末手当（ボーナス）に対する措置をするための議案が提出され、本会議で審議しました。

◎特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部改正条例（第六十号）

本案は、現任期中における出口市長の期末手当を支給しないこととするものです。

質問 四年間不支給とするのではなく、各年度の予算編成状況を踏まえて判断すべきではないか。

市長 今から四年間の期末手当を支給とすることとすることが、必ずしも不適当ではないと考えるが、都度判断することも一つの手法であると考えます。

※本議案は、九月十日に市長より撤回の申出があり、同日承認しました。

◎特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の特例条例（第七十一号）

本案は、出口市長の給料等を減額するための特例を定めるものです。

質問 議案提出に至った具体的な考えを伺う。

市長 私個人の国民健康保険及び国民年金に関する手続義務の違反、過去の国民年金保険料の未納の問題について、一定のけじめをつけるとともに、自らを戒め、責任を負うため、給料の減額措置を講ずるものである。

◎特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部改正条例（第七十二号）

本案は、令和七年十二月分の出口市長の期末手当を支給しないこととするものです。

質問 第六十号の撤回後、どのように考えを整理し、本案の提出に至ったのか。

市長 予算は単年度主義であり、お示しできる私の施策は本年度に係るものである。責任を持った行政執行への認識を示すものとして、まずは十二月分の不支給を提案した。

政治倫理審査会

現在設置されている三浦市議会議員政治倫理審査会（対象：草間道治議員）の審査概要を、前号に続いて報告します。

◆ ◆ ◆

第二回（八月二十日）

○調査請求の適否について

第三回（九月十九日）

○政治倫理基準違反の行為の存否について

第四回（九月二十四日）

○政治倫理基準違反の行為の存否について

為の存否について
調査請求者に参考人として出席を求め、質疑を行いました。

第五回（九月三十日）

○政治倫理基準違反の行為の存否について
草間議員に出席を求め、意見を聞くとともに質疑を行いました。

第六回（十月八日）

○政治倫理基準違反の行為の存否について
出口市長に関係者として出席を求め、質疑を行いました。

人事

市長から、次の方々を引き続き教育委員会委員及び公平委員会委員として任命・選任するための議案が提出され、原案のとおり同意しました。

教育委員会委員

廣瀬 牧実氏

公平委員会委員

大井 清氏



表紙写真
の紹介



議長の神田眞弓です。

朝夕はようやく過ごしやすくなり、虫の音が心地よい季節となりました。

今回の表紙写真は、第十七回みうら夜市（灯ろうナイトウォーク）です。

十月四日・五日の二日間で開催され、市内外から多くの方に来場していただきました。

昨年同様、「昭和レトロ港町灯りのイベント」で、三崎小学校全校生徒により作成された大漁旗で装飾された灯ろうで三崎下町はライトアップされました。

今年も、新企画として「みうらワンハンドフードフェス」も開催されました。年に二日間しか開催されないみうら夜市、「せっかくなのでここでしか味わえないフードをたくさん食べてみたい！」



そんな来場者の方々の想いに応えるため、美味しいワンハンドフード（カジュアルでスピードイさが特徴のフード）が多数出店され、どの店舗にも長蛇の列ができていました。道行く人は懐かしくて美味しいフードを手にもみうらの夜を楽しんでいたようでした。

普段は物静かな三崎下町商店街の夜も「みうら夜市」の日は夜遅くまで賑わっていました。

これからも三浦市を訪れる方々に楽しんでもらい、また来たいと思えるような企画を期待し、議会としても協力していきたいと思えます。

社会福祉協議会への 不当介入及び情報発信等に関する調査特別委員会

当委員会は、出口嘉一市長が市長候補時にSNSで発信した発言の根拠をはじめ、出口市長による情報発信について調査をするために設置されました。

前号に続いて調査の概要を報告します。

◇ ◇ ◇ ◇ ◇

第二回（八月二十一日）

当委員会で行う調査の項目及び調査を行う順番等を決定しました。

第三回（九月一日）

「出口市長（個人）に係る国民健康保険及び国民年金の手続不備等に関する報道発表について」を調査項目として追加し、出口市長の出席を求めて質疑を行いました。

第四回（九月二十二日）

次回の調査において、参考人の出席を求めることを決定し、「参考人の出席要求書」を議長に提出しました。

第五回（九月二十五日）

参考人として三浦市社会福祉協議会常務理事の出席を求め、質疑を行いました。

また、次回の調査において、出口市長の出席を求めることを決定しました。

第六回（十月十四日）

出口市長の出席を求め、質疑を行いました。また、市側に対し、追加資料の提出を求めました。

※次回の委員会は、十一月十三日（木）十時から開催する予定です。



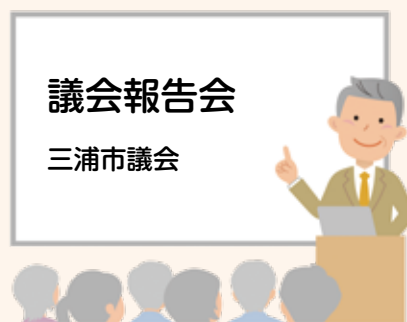
一般質問や委員会審査の全文が載っている会議録の閲覧・検索のほか、定例会の日程や議案の審議結果など、議会に関する情報を検索することができます。

検索

議会ウェブサイトのご案内

議会報告会を開催します

「市民に開かれた、市民のための議会」を目指して、市民の皆さんに議会の活動についてお知らせするとともに、皆さんのご意見を議会活動や市政に反映していくため、議会報告会を開催します。どなたでもご参加いただけます。



◆開催テーマ：議会基本条例の検証について
市民交流拠点（新庁舎等）について

初声地区	日時	令和8年1月31日（土）14：00～16：00
	会場	三浦市総合体育館（潮風アリーナ） 研修室
南下浦地区	日時	令和8年2月1日（日）10：00～12：00
	会場	南下浦コミュニティセンター 多目的ホール
三崎地区	日時	令和8年2月1日（日）14：00～16：00
	会場	三浦市役所 議場



12月定例会日程案

令和7年第4回定例会は、次の日程により開かれる予定です。

月 日	曜日	会 議 名 等
11月26日	水	招集告示
28日	金	議会運営委員会（日程・審議方法等決定）
12月 3日	水	本会議（一般質問）
4日	木	本会議（一般質問）
5日	金	本会議（一般質問）
8日	月	総務経済常任委員会
9日	火	都市民生常任委員会
11日	木	（仮）総合計画審査特別委員会
12日	金	（仮）総合計画審査特別委員会
15日	月	社会福祉協議会への不当介入及び情報発信等に関する調査特別委員会
18日	木	本会議（議案審議）

※今定例会で審査する請願・陳情の提出期限は11月27日（木）です。

請願書・陳情書の提出方法

市政についての要望などを請願や陳情として議会に提出することができます。請願は紹介議員が必要です。書式はA4・横書きで、右の例を参考にしてください。

詳しくは、議会ウェブサイトをご覧ください。ただか、議会事務局までお問い合わせください。

〇〇についての請願（陳情）書
 請願（陳情）の趣旨
 請願（陳情）の理由
 令和 年 月 日
 三浦市議会議長 様
 住所 〇〇〇〇
 氏名 〇〇〇〇
 （署名または記名押印）

本会議の映像を
 ユーチューブで
 配信しています。

議会インターネット
 中継はこちらから



※過去の映像は会議録が議会ウェブサイトに掲載されるまでご覧いただけます。

編集委員コラム

編集委員

下田 剛

九月二十一日は「世界アルツハイマーデー」でした。議員になって以来この日に市内の施設がオレンジ色に染まることを強く望んでおります。

認知症の啓発イベント「RUN伴三浦半島」に毎年参加しています。今年の三浦市の日程は十一月一日と三日です。

認知症・子ども虐待防止のオレンジ、乳がん早期発見のピンク、いじめ撲滅のブルー等多くのシンボルカラーがあります。

議会だより

編集委員会

委員長 神田 眞弓
 副委員長 石崎 遊太
 委員 寺田 一樹
 森谷久一郎
 石橋むつみ
 下田 剛
 出口 景介